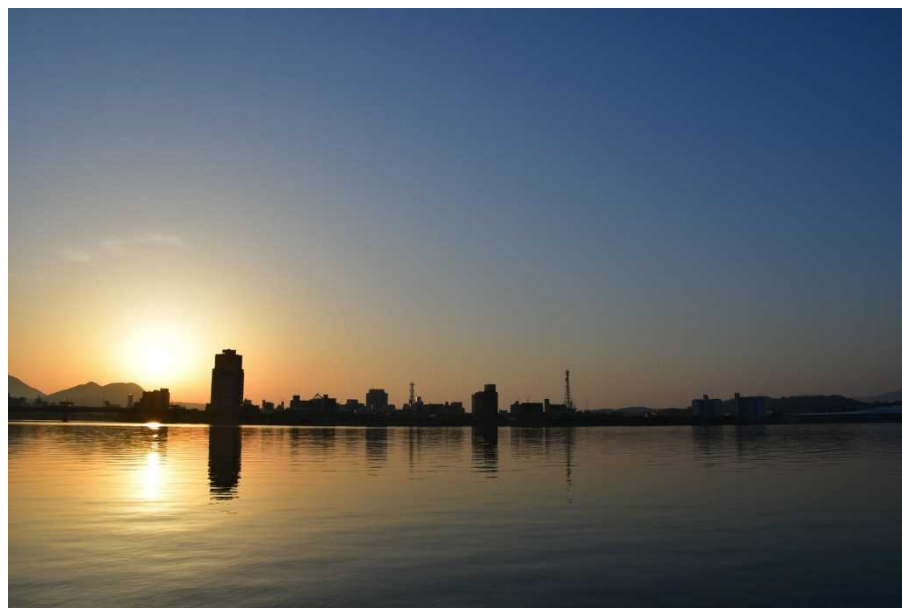
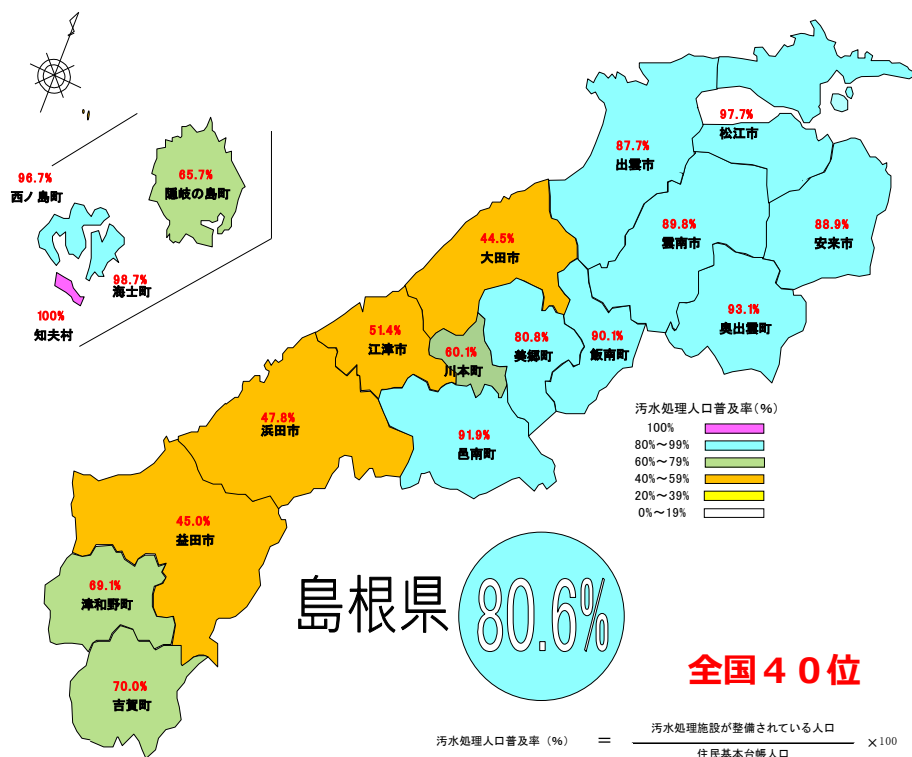


島根県における広域化・共同化の取り組み

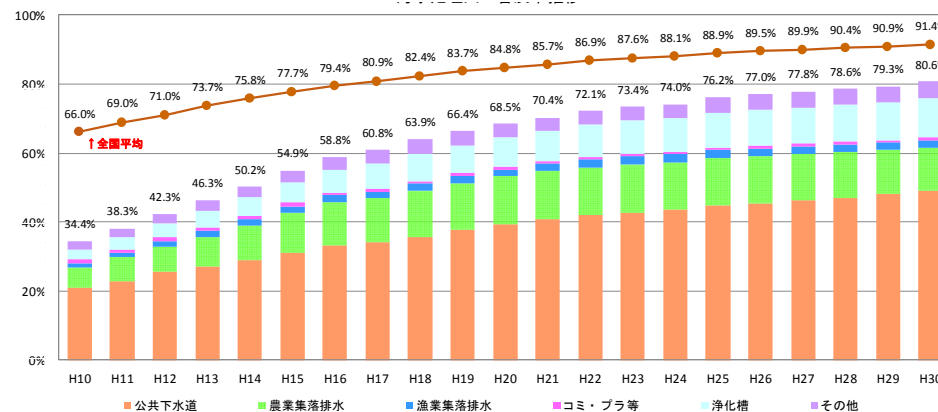


島根県の汚水処理施設の普及状況

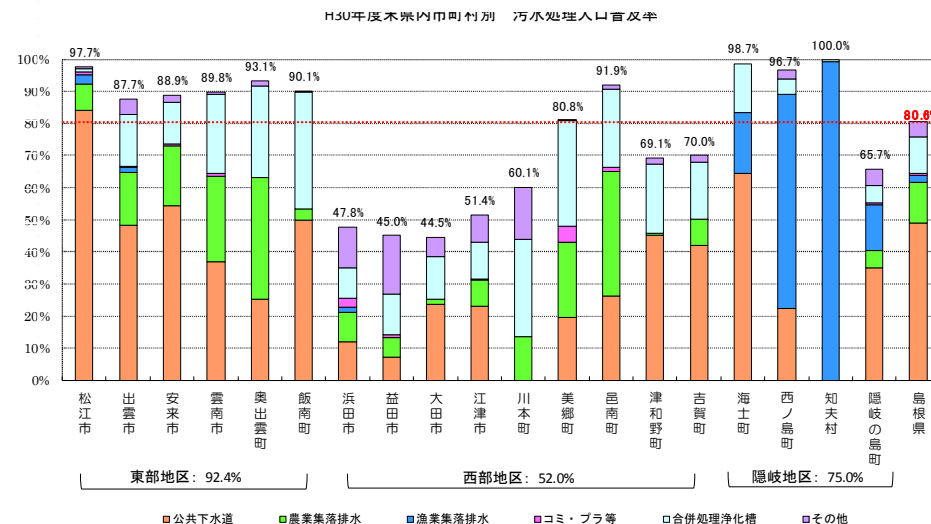
■ H30年度末汚水処理人口普及率



■ 汚水処理人口普及率推移



■ H30年度末県内市町村別 汚水処理人口普及率



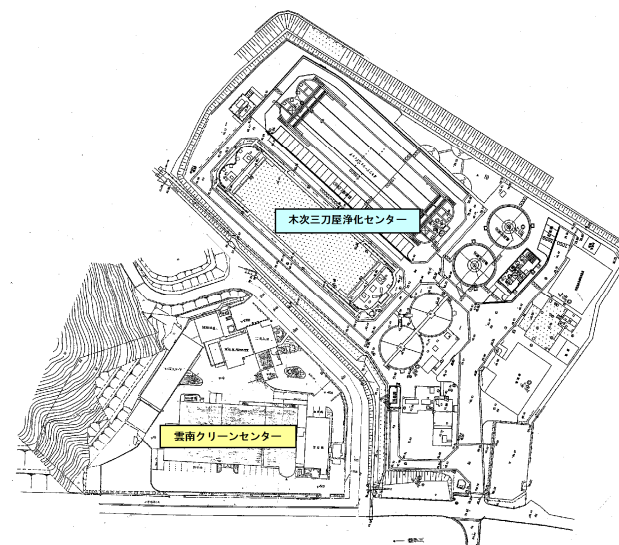
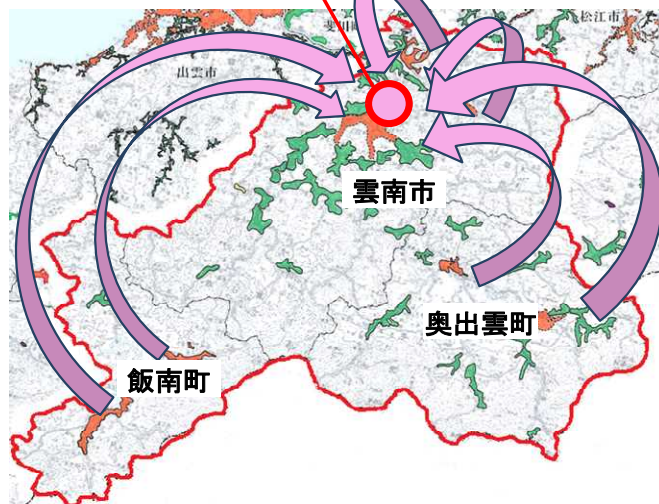
島根県内における広域化・共同化の取り組み状況

■汚泥共同処理状況

市町村名	概要
雲南市・奥出雲町・飯南町	し尿・集排・浄化槽・公共下水の汚泥共同処理
江津市	し尿・浄化槽・公共下水の汚泥共同処理
美郷町	集排・公共下水の汚泥共同処理
邑南町	集排・公共下水の汚泥共同処理
隠岐の島町(R2完了予定)	し尿・集排・浄化槽・公共下水の汚泥共同処理
海士町	集排・浄化槽・公共下水の汚泥共同処理

■雲南市・奥出雲町・飯南町における汚泥共同処理の概要

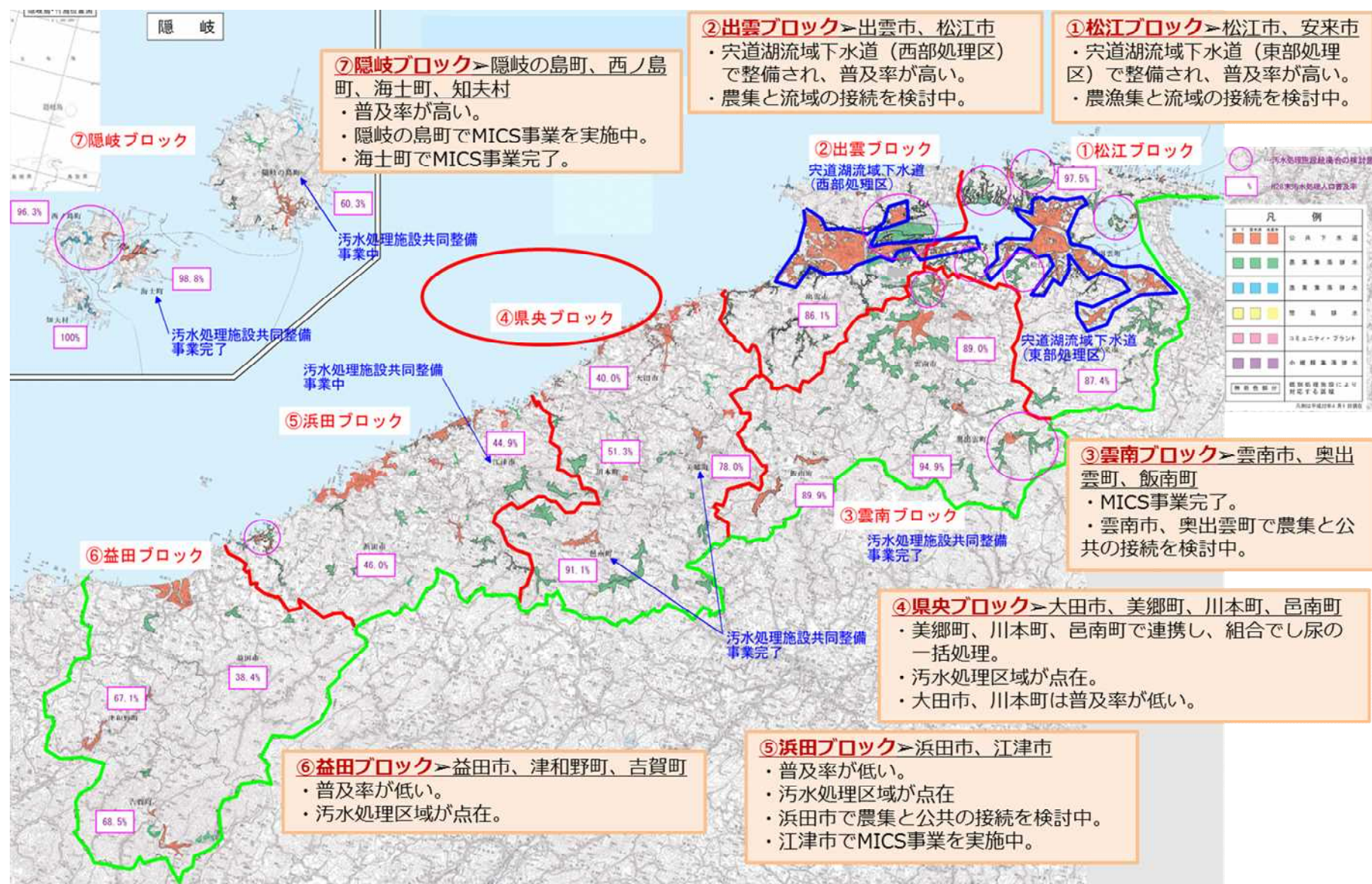
雲南クリーンセンター



雲南クリーンセンターと木次三刀屋浄化センターの位置関係



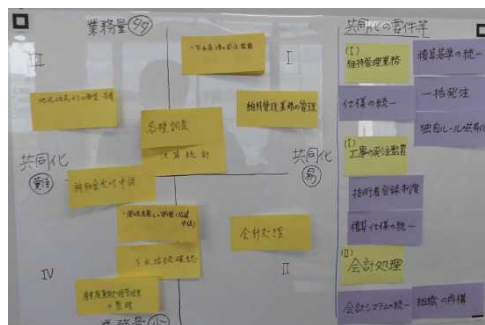
島根県ブロック割



広域化・共同化計画の策定に向けた取り組み状況

■ 勉強会等の開催状況

- ・ H30年 3・4月 第1回・2回広域化・共同化勉強会開催（全市町村参加）
- ・ H30年 6～7月 ABC調査、SWOT調査の実施（全市町村対象）
- ・ H30年 8月 JSによる広域化・共同化研修（全市町村参加）
- ・ H30年10月 隠岐地区（離島）広域化共同化に関するヒアリング
- ・ R 1年 8月 広域化・共同化研修（全市町村参加）
- ・ R 1年 9月～ 全市町村に広域化共同化に関する個別ヒアリング



連携の可能性のあるメニュー

- ①維持管理
- ②維持管理業務の発注
- ③使用料関連事務
- ④工事の発注、監査
- ⑤会計システムの統一

■ 勉強会等の主な意見

- ・ 汚泥処分費のコスト縮減のために、汚泥処理の共同化に期待する意見があった。
- ・ 小規模自治体から災害時の職員間の協力体制への要望があった。
- ・ 満足に出来ていない業務（普及啓発活動など）は共同化の可能性はある。
- ・ 少人数で下水道事業以外の業務も担っているため、広域化・共同化を検討する余力がない。
- ・ 離島では、一括発注しても業者が効率的な事業運営をすることは困難と思われる。



県央ブロック(モデルブロック)における広域化・共同化

■モデル選定理由

- ・集合処理施設の整備が概成している（大田市除く）
- ・集合処理が点在するなど、地理的条件が厳しい島根県の縮図となっている

■県央ブロック(モデルブロック)における取り組み状況

- ・H30年度に3回の意見交換会を開催
 - ①汚水処理事業における課題抽出及び課題解決策の方向性の検討
 - ②課題解決策（広域化共同化メニュー）の検討
 - ③広域化・共同化計画（素案）の合意

■各市町村の課題

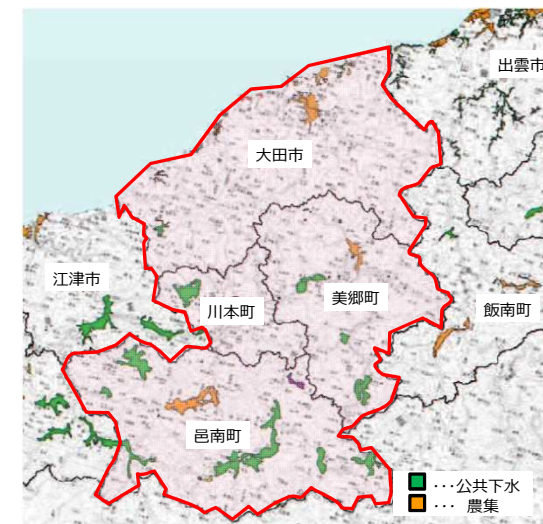
- （大田市）未普及対策をしているが技術職員が不足、**若手職員の技術力不足**
- （美郷町）**担当嘱託職員が高齢**であり汚泥処理の持続性の確保が懸念される
脱水車や受け入れ施設に不具合があった場合の緊急対応
- （邑南町）集排と公共下水の汚泥共同処理の拡大
- （川本町）特になし

■実行メニューの方向性

- ・**緊急時の汚泥処理の相互支援**
- ・**汚泥処理の更なる集約化**
- ・執行体制強化
- ・接続率向上のための広報活動

■実行メニュー

- ①緊急時相互支援体制の構築
大田市、美郷町、邑南町、川本町の相互支援協定の締結
- ②汚泥集約処理方針の検討
美郷町の汚泥集約処理方針（移動脱水・固定式）の検討
- ③汚泥処理集約化の検討
邑南町の集排・公共下水との更なる汚泥共同処理の検討



(H30.6.1)

市町	人口	担当職員数(人)					
		下水道			農集		
		事務系	技術系	計	事務系	技術系	計
大田市	35,190	2	6	8	(2)	(6)	(8)
川本町	3,359	-	-	-	2	1	3
美郷町	4,750	4	0	4	(4)	0	(4)
邑南町	10,901	(5)	0	(5)	8	0	8

注) (): 兼務を示す

※大田市: 下水道と農集兼務

※美郷町: 下水道と農集兼務

※邑南町: 5人は下水道と農集兼務

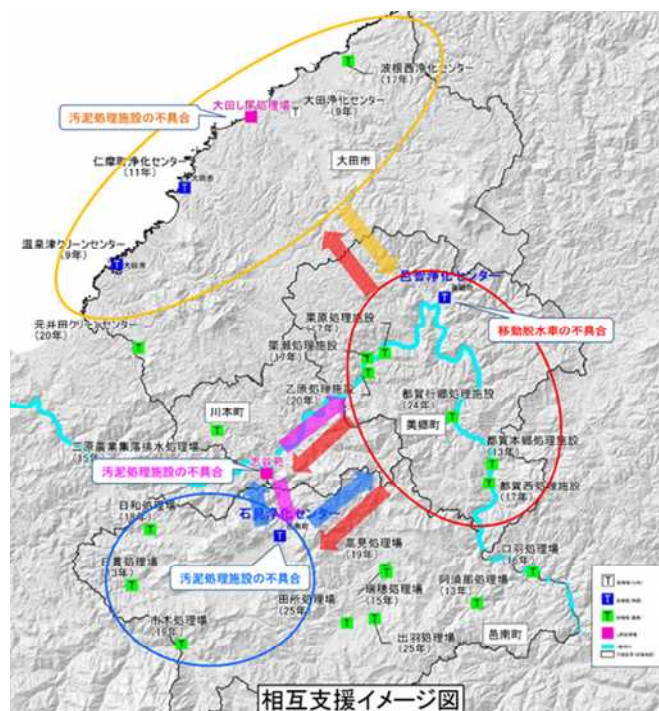


緊急時相互支援体制の構築

■汚泥処理等に関する緊急時相互支援協定の締結

処理場の機器の不具合等の不測の事態が発生し、汚水が適正に処理できない場合は、汚水等を近隣の処理場へ一時的に受け入れる

広域化・共同化に関わる市町村	広域的な連携メニュー（素案）	連携に関わる施設名等	メニューに対するスケジュール					
			短期（～５年間）		中期（～１０年間）		長期（～３０年間）	
			2019	2023	2024	2028	2029	2048
大田市、美郷町、邑南町、川本町	緊急時相互支援協定の締結	大田浄化センター 石見浄化センター 邑智浄化センター 等						



汚泥処理の方針の検討

■美郷町の汚泥集約処理方針（移動脱水・固定式）の検討

費用比較や今後の脱水作業の継続性などの観点から、処理方法（移動式⇔固定式）の総合的判断を行う。

広域化・共同化に関わる市町村	広域的な連携メニュー（素案）	連携に関わる施設名等	メニューに対するスケジュール					
			短期（～5年間）		中期（～10年間）		長期（～30年間）	
			2019	2023	2024	2028	2029	2048
美郷町	汚泥処理方式の検討	邑智浄化センター 等						

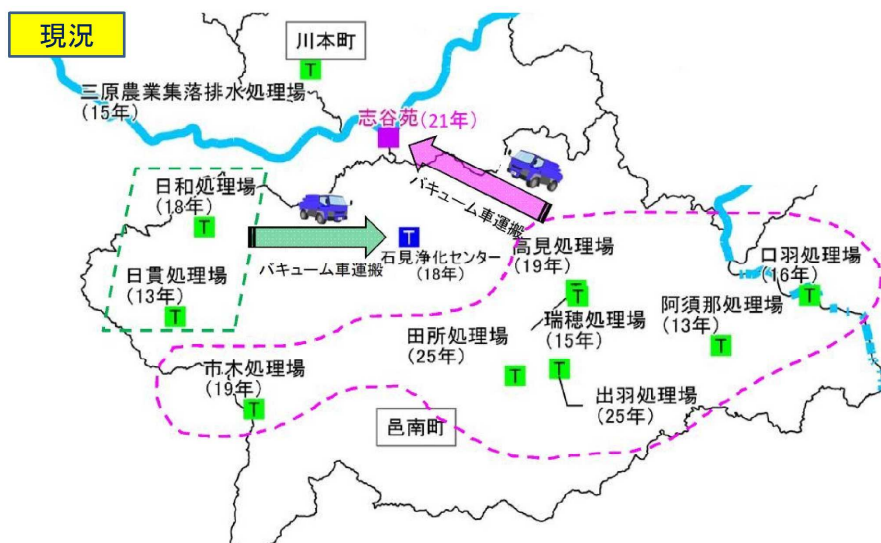


汚泥処理の集約化の検討

■ 邑南町の集排・公共下水との更なる汚泥共同処理の検討

集約化されていない集排からの汚泥受け入れのため、経済比較の精度向上、集排管理業者との調整を図る。

広域化・共同化に関わる市町村	広域的な連携メニュー（素案）	連携に関わる施設名等	メニューに対するスケジュール					
			短期（～5年間）		中期（～10年間）		長期（～30年間）	
			2019	2023	2024	2028	2029	2048
邑南町 （事務組合（汚泥集約化検討結果による））	邑南町内の汚泥処理集約の検討 （→志谷苑の規模縮小化）	石見浄化センター						



広域化・共同化計画策定に向けた今後の予定①

■これまでの意見交換やモデルブロックにおける課題と検討方針

- ①活発で多様な意見の聴取
→個別ヒアリングの実施し、県・市町村間の交流を深める
- ②ブロック分けに拘らない多様な意見交換
→広域的で多様な意見を聴取するため、当面は3地区で検討
- ③県担当者の下水道に関する知識等の不足
→検討支援業務
- ④市町村の積極的で自発的な検討
→取り組み易く、実効性の高い広域化・共同化メニューの検討



■今後の予定

検討会ver1

～令和2年度 検討体制：3地区（東部・西部・隠岐）

- 汚水処理事業における現状と課題の整理
- 広域化・共同化の方向性検討
 - ・連携市町村の整理
 - ・広域化・共同化メニューの方向性検討



広域化・共同化メニューの方向性

- 施設管理の共同化（〇〇市、◇◇町、△△町）
- 資材調達の共同化（□□市、◎◎市、▼▼町）
- 技術支援体制の構築（A市、B市、C町）
- 災害時支援体制の構築（D市、E市、F町）

検討会ver1

～令和4年度 検討体制：7ブロック

- 広域化・共同化実行メニューの実施に向けた検討
- ①実行メニューの選定
- ②実行メニューの実施に向けた課題整理
- ③課題解決策の検討
- ④計画（案）の策定



広域化・共同化計画（案）の策定

- MPの遠隔管理システムの共同整備（〇〇市、◇◇町、△△町）
- 膜処理資材の共同購入（□□市、◎◎町）
- 包括委託導入に向けた共同検討（勉強会）（A市、B市、C町）
- 災害時相互支援協定の締結（D市、E市、F町）



ご静聴、ありがとうございました

